

大教会の諸活動

▼月定例行事▲

4日	岡心勇隊佐賀地区
8日	岡心勇隊奈良中和
9日	岡心勇隊五條橋本(あやの台)
13日	岡心勇隊八幡地区
15日	大教会ひのきしん(道弘)
18日	岡心勇隊大阪地区
21日	大教会ひのきしん(相嘉)
22日	祭典準備ひのきしん
	大教会ひのきしん
	(表野・飛鳥川・岡秋)
22日	大教会役員会議
22日	婦人会伏せ込みひのきしん
23日	大教会月次祭
23日	婦人会詰所ひのきしん
24日	大教会ひのきしん(東松浦・西北)
25日	大教会役員・直属教会長連絡会議
25日	おちば伏せ込み団参(早朝)
25日	詰所ひのきしん日
26日	本部月次祭
26日	岡心勇隊浜会場
30日	第一日曜日 おちば伏せ込み団参(午前中)

※新型コロナウイルスの影響から、行事予定が中止、または変更される可能性があります。

教務報

◆大教会人事(8月23日付)

- ・おつとめ奉仕人 芦刈 山内健司
- ・信者詰所教養掛 岡 吉田直弘

◆教養掛

- 10月 表田 上田時弘
- 11月 須光 光武松市

◆修養科第94期終了者(9月27日付)

- 西北 森川稔之
- 筑 攝 木村雄二
- 筑 攝 木村美幸
- 須光 石橋裕子

◆おさづけの理拝戴

- 8月16日～9月15日詰所受付分
- 表野 蓮池光理
- 瀧登 山原一美
- 須光 石橋裕子
- 筑 攝 木村美幸
- 9月16日～10月15日詰所受付分
- 飛鳥川 米川幸徳
- 道弘 中垣内俊一郎
- 大和二見 片平良
- 大和二見 片平こころ

◆別席願(9月16日～10月15日詰所受付分)

- 岡村 武藤孝一
- ◆本部食堂ひのきしん(10月1日～10月15日) 東志免 高場淳平

◆事情お運び(8月26日)

- ・道弘分教会
- 【任命願】
- 新会長 高野英士
- 奉告祭 立教183年10月25日

大教会からのご案内

現在、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各行事の開催が流動的になっております。延期、中止などの情報をその都度「行事案内」や大教会ホームページなどでご案内します。どうぞご参照ください。また、行事開催の際は、感染予防対策を実施してまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

岡大教会「行事案内」
詳しくはこちら！



立教一八三年 十一月号(十月二十三日発刊) 岡大教会連絡報

岡大教会ホームページ



oka.or.jp

発行所 高市郡明日香村岡 395 〒634-0111

天理教岡大教会

電話 (0744)54-2002 FAX (0744)54-3889 E-mail info@oka.or.jp

183.10.23 / 028

「3年後に迫る教祖140年祭の年祭活動の打ち出しにあたって、一斉に立ち上がるための心づくり、態勢づくりにかかりたい」との思いが込められている。

やくと、一緒に見ていた息子が「会長さんが朝つとめの後にやっていることと同じでは」とつぶやき返しました。

私は、みんなの一日の動きがスムーズにいくようにと思って、出来るだけ細かく情報の交換をしているつもりだったのです。しかし、見方によれば・・・管理し過ぎなのかも。

それからは大まかな事だけにして、後はみんながうまくやるだろうと。陽気ぐらしとは、信頼関係を土台にしたものなのでしょうから。

(吉田)



POINT 今月のメッセージ 「監視システム」

中国の村では、数名の監視員がすべての住民の日頃の行動を監視して点数を付け、それによって良い待遇を受けたり、また罰を受けたりする監視システムが導入されつつあるようです。問題もいろいろあるようですが、点数稼ぎになる清掃活動で街が見違えるようにきれいになったりして、全国的に広めるようです。

しかし、倒産した人が大きな減点をもたらす、融資を受けられないどころか「高速列車の切符も買えないし、子供を学校へもやれない」と嘆いていました。見ていて「行き過ぎないといいけど」とつぶ

TOPIC 表統領 お話「これからの道の歩み」を受けて

一斉に立ち上がる心づくり 態勢づくりを



大教会「即応幹部研修会」開催

10月24日、信者会館食堂ホールを会場に「即応幹部研修会」が開催され、教会夫妻や教会長後継者ら76名が参加した(写真)。

この「研修会」は、中田善亮表統領が8月27日に、お道を取り巻く現状を踏まえて語った「これからの道の歩み」を受けて開催されたもの。

当日は、午前中に『みちのとも(10月号)』に掲載されている「表統領 お話『これからの道の歩み』【要旨】」を全員で読み、グループトーク1を実施。「表統領の話を台に、現状認識を共有する」「全教が同じ旬を目標に立ち上がりたい」とのテーマでねらいあいが進められた。

午後は、午前中のねらいあいを通じて感じた思いを次の歩みにつなげることを目的に、「やる気スイッチ」をテーマにグループトーク2を実施。テーマにまつわる動画を視聴し、自分自身や身近な相手にやる気を生むための意見交換が行われた。

「研修会」後には、「今までのような歩みでは何も変わらない。表統領の話を胸に治めて生まれ変わり、立ち上がる努力が必要だ」という熱い意見が多く聞かれた。



9月恒例の「敬老のお祝い」と「おつとめ勉強会」は縮小して実施。敬老者を代表して、90歳を超えた「道の先輩」にお祝いの花が贈られた。



秋の霊祭では、松村しやう三代会長の年祭も勤められた。



非常事態宣言時には一時中断していた「おぢば伏せ込み団参」。非常事態宣言解除後より実動を再開し、毎月約50～60人が参加。おぢばで伏せ込みの汗を流している。

今月のグラフ
2020
9/10
Two Months
写真で振り返る二カ月

一人ひとりの積極性が雰囲気を変える

コロナ禍にあっても可能な取り組みと実動が心を勇ませ、教会を活性化する

立教183年を迎えてすぐ、世界的なパンデミックとなった新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、いままでに経験したことのない雰囲気が社会全体を覆った。緊急事態宣言やソーシャルディスタンス（社会的距離）、三密（密閉、密集、密接）の回避、各種自粛など、気持ちが滅入る空気が広がる一方、信仰者である私たちの心の中には「このままではいけない」という気持ちがふつふつと膨らむ。大教会では、信仰の歩みが止まることのないように、コロナ禍にあっても開催可能な行事などは積極的に実施。コロナ感染予防への十分な配慮をしたうえで参加を呼びかけ、ぢばへ、大教会へと心運び、身を運んでいる。8月末には、ご本部より「これからの道の歩み」に関する内容が発信された。これを受けて、大教会では「即応」をテーマに研修会を開催し、時句の波に乗り遅れることのないように心づくりに取り組む。一人ひとりの積極性は間違いなく、全体の雰囲気を明るく陽気な空気へと変える力を持っている。



※Web上で、諸活動を写真付きで詳しく紹介中—ぜひご覧ください。